

すすめよう！男女共同参画

問合せ 役場企画課企画調整係（内線213）

◆シールアンケート調査の結果について

6月20日(火)から7月9日(日)まで、図書館と帯広大谷短期大学附属図書館で実施した「男女共同参画図書展。」で男女共同参画社会についてのシールアンケート調査を行いました。シールアンケートとは、設問の該当項目にシールを貼って投票するアンケートのことです。

主な結果は次のとおりです。なお、結果の詳細は、町ホームページに掲載しています。

▷男女共同参画に関係する「ことば」の認知について

男女共同参画に関係することばの認知度は、表1のとおりです。セクハラとDVは過去5年間、常に上位にあり、SDGs（持続可能な開発目標）とパートナーシップ制度の認知度が高まっています。SDGsのゴール5は「ジェンダー平等を実現しよう」です。なお、SOGI（ソジ）とは、セクシュアルオリエンテーション（SO:性的指向）と、ジェンダーアイデンティティ（GI:性自認）を合わせたことばで、認知度は低いですが、性の多様性を考える際に重要な用語です。

表1 男女共同参画に関係する「ことば」の認知度

ことば	令和5年度		令和4年度		令和元年度	
	順位	投票数	順位	投票数	順位	投票数
セクハラ	1	32	1	40	1	52
SDGs	2	31	5	38	9	10
DV	3	30	2	39	1	52
ジェンダー	4	28	2	39	5	44
働き方改革	4	28	2	39	3	48
パートナーシップ制度	6	25	9	27	-	-
男女共同参画社会	6	25	6	35	4	45
LGBT	8	24	7	32	7	39
ワーク・ライフ・バランス	9	23	8	29	6	42
女性活躍推進(法)	10	18	10	19	8	16
SOGI	11	13	11	4	10	7

▷ジェンダー平等について

表2はジェンダー（社会的・文化的につくられる性別）平等に関係する設問です。各設問でジェンダー平等に肯定的な回答は、Q1～Q3は「そう思わない」、Q4は「そう思う」です。4つの設問においてジェンダー平等に肯定的な考え方をしている人の割合は、令和4年度と比べると高い結果になりました。

表2 ジェンダー平等に関する認識の変化

設問		そう思う	そう思わない	どちらでもない
Q1 「女性」は「家庭を守る」「男性」は「仕事をする」べきだ	R5	0.0%	92.9%	7.1%
	R4	4.1%	59.2%	36.7%
Q2 「女だから」「男だから」「男のくせに」「女のくせに」という言葉をよく使う	R5	11.9%	64.3%	23.8%
	R4	15.7%	56.9%	27.5%
Q3 「男性」は「女性」を、「女性」は「男性」を好きになるのが当たり前だ	R5	12.2%	85.4%	2.4%
	R4	27.0%	58.1%	14.9%
Q4 選択的夫婦別姓(氏)を認めるべきだ	R5	69.8%	18.6%	11.6%
	R4	58.3%	18.8%	22.9%

※各設問の上段は、令和5年度の結果。下段は、令和4年度の結果です。

※令和5年度の各設問の投票数は、[Q1] 42、[Q2] 42、[Q3] 41、[Q4] 43です。